



2018年7月21日（土）オープン！

大好評の常設企画「彫刻の森研究所」に新コンテンツ

《「自分彫刻」を展示してみよう！》が登場！

会場：彫刻の森美術館マルチホール

当研究所は、彫刻作品をより深く理解し、より楽しく鑑賞することを目的に活動しています。

彫刻の「そざい」「かたち」「くうかん」をさまざまな方法で分析し、日々研究を重ねています。みなさんも是非研究に参加し、彫刻に対する理解を楽しく深めていただければと思います。そして研究の後は、野外彫刻をじっくり鑑賞してみてください。彫刻との新たな出会いがあるかもしれませんよ。

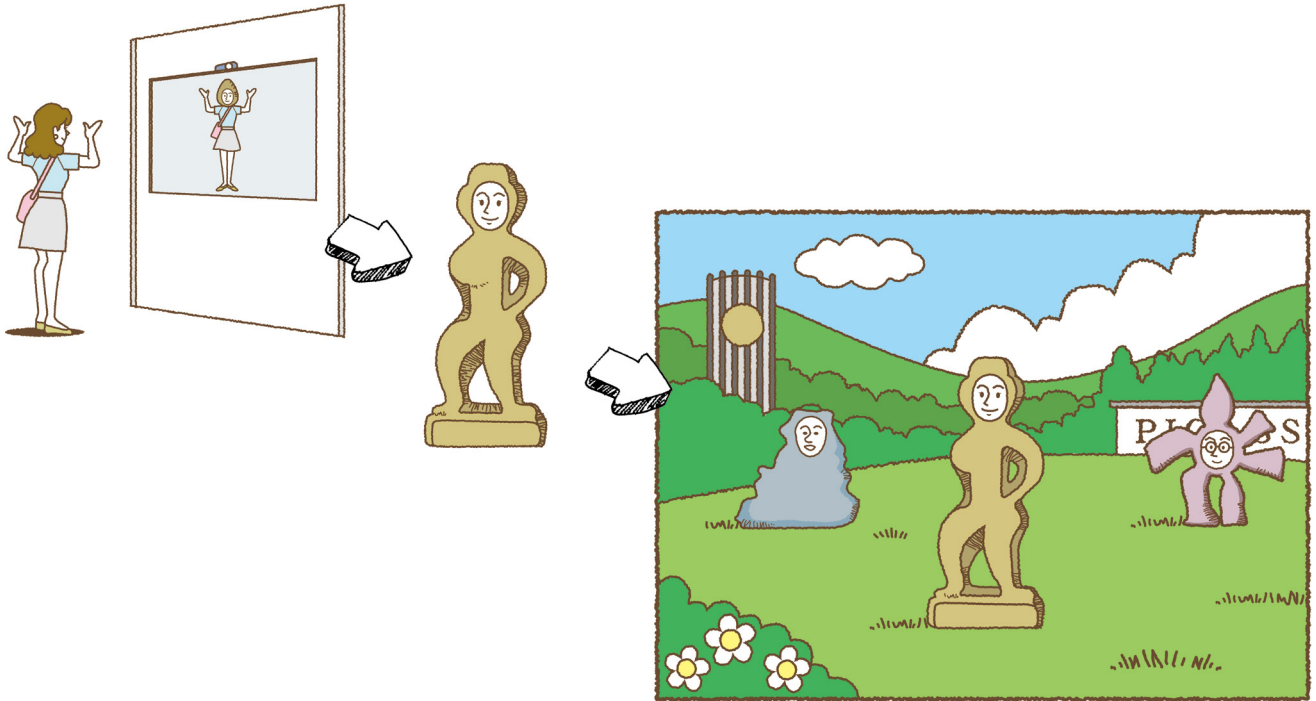
7月21日（土）、『彫刻の森研究所』に新コンテンツが登場。

今回の研究テーマは「くうかん」です。

7月21日登場 新コンテンツ

●スタディ STUDY 3：「自分彫刻」を展示してみよう！

ディスプレイの前に立つと、壁面のスクリーンに映し出された屋外展示場に、「自分彫刻」が展示されます。季節や天候の変化によって、彫刻の見え方が変わることを感じてみましょう。

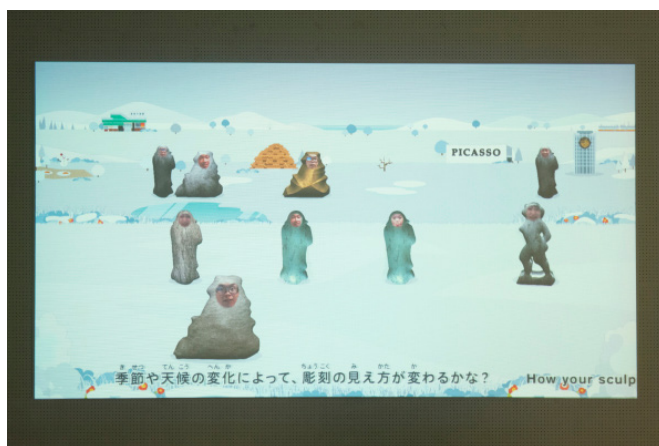
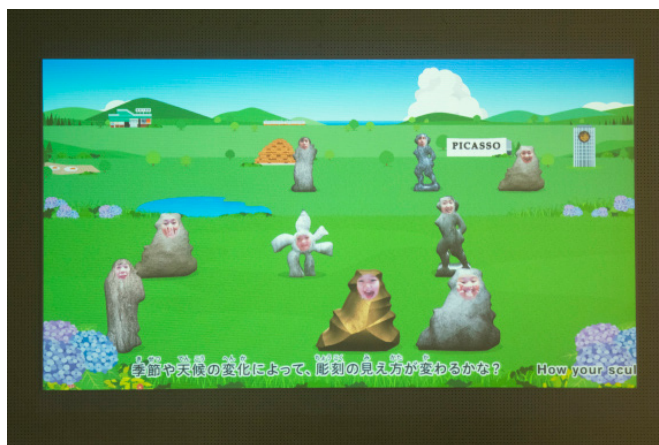


「自分彫刻」の展示方法

=ディスプレイの前に立って、「自分彫刻」を作ろう=



＝四季の変化で背景が変わります＝



＝スクリーンに出現した「自分彫刻」を探してみよう＝



【しくみデザイン】

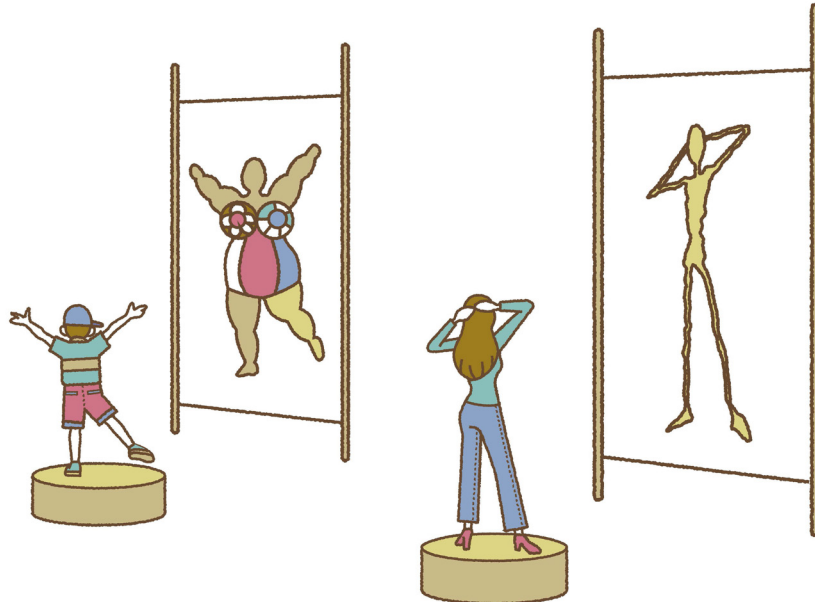
「みんなを笑顔にするしくみをデザインする」を企業理念として 2005 年に設立。カメラ映像を使ったユーザー体験型コンテンツのパイオニアとして国内随一の実勢を有する一方、世界的な開発コンテストでグランプリを受賞するなど、海外からも注目を集める。

高度な技術と豊富な実績から得られたノウハウを駆使しつつも体験者にはそれを見せず。「すごい」よりも「楽しい」を感じてもらうことが信条。世界中の子どもたちがクリエイティブになる方法と環境を研究・実施する「クリエイティブ教育ラボ (EfuCrwativeLab)」を立ち上げるなど、子ども向けのクリエイティブ教育にも注力している。

= 継続展示中のコンテンツ =

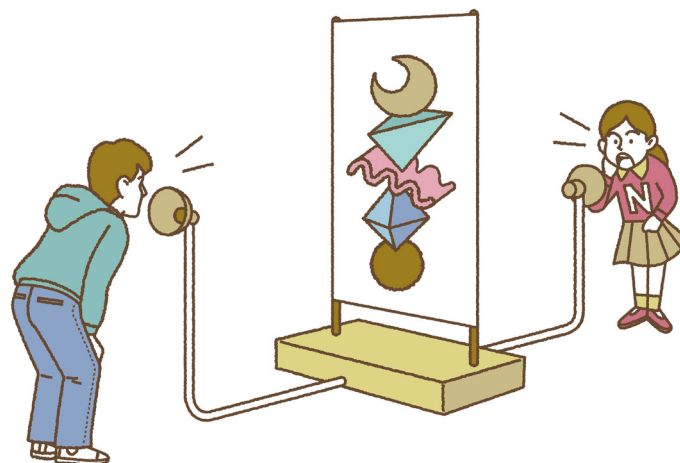
●スタディ STUDY 1：彫刻になってみる

台座に上がってポーズをとると、目の前のスクリーンに彫刻になった自分が映し出されます。思い通りのポーズをとって、彫刻になりきってみましょう。



●スタディ STUDY 2：声の彫刻

マイクに向かって声や音を発すると、それに対応してさまざまな『かたち』が生まれます。いろいろな声や音を出して、さまざまな『声の彫刻』を生み出しましょう。



plaplaX (近森基+久納鏡子+寛康明+小原藍)

2002 年頃よりコラボレーションを開始。主にインタラクティブアート分野における作品制作を手がける一方、病院や地下道などの公共空間、商業スペースやイベント等での空間演出や展示造形、映像コンテンツ制作、インタラクティブシステム開発、大学や企業と共同での技術開発など幅広く活動している。Ars Electronica(オーストリア)、SIGGRAPH(アメリカ)、ポンピドゥセンター(フランス)、文化庁メディア芸術祭(日本)、東京都写真美術館(日本)など、国内外で数多く作品を発表。

●アニメーション： 3年3組 彫刻クラス

(1分30秒)

井上涼は、作詞、作曲、歌、アニメーションなど、制作のすべてをひとりで手がける作家。

彫刻の「素材」「形」「空間」の3つをテーマにアニメーションを制作しました。

父は石彫家・井上直。



展示作品リスト

	作家名	作品名	制作年	材質
1	井上 涼	3年3組 彫刻クラス	2015	アニメーション
2	プラブラックス	スタディ1：彫刻になっ てみる	2016	スクリーン、センサー、プロジェクター、コンピューター
3	プラブラックス	スタディ2：声の彫刻	2016	金属、スクリーン、マイク、プロジェクター、コンピューター
4	しくみデザイン	スタディ3：『自分彫刻』を展示 してみよう	2018	Webカメラ、コンピューター、スクリーン、スピーカー、ディスプレイ、プロジェクター

イベント内容や詳細に関するお問い合わせ、取材のリクエスト、および掲載用画像の請求は下記までお願いいたします。

彫刻の森美術館 〒250-0493 神奈川県足柄下郡箱根町二ノ平1121 TEL:0460-82-1161 FAX:0460-82-1169

広報担当：辻井、福間 press@hakone-oam.or.jp Photo:Mika Sasaya (会場風景)